

自然に感謝し

自然とともに生きる



おわせ
尾鷲ヒノキ

おわせし
尾鷲市

おわせ
尾鷲地方の林業は歴史が古く、しかも全国的にも有名な木材の産地です。



おわせ
尾鷲ヒノキの特ちょうを知り、尾鷲ヒノキのすごいところを考えてみましょう。

右の文は、「ふるさと三重かるた」にのっている「尾鷲ヒノキ」のよみふだです。

また、下の写真は「尾鷲ヒノキの森」を写したものです。

このよみふだや写真から、みなさんは、どんなイメージを思いうかべましたか。



おわせ
尾鷲ヒノキの森 (尾鷲市市有林)

も
つまつてる
森の香りが

尾鷲地方は、雨がとても多く、あたたかいところで、周りには多くの山が連なっています。一方、山のしゃ面は急で土の栄養もあまりないので、木が成長するにはきびしい場所となっています。

しかし、その中でじっくりと時間をかけ、じょう夫に育ったヒノキは、「尾鷲ヒノキ」として有名になり、尾鷲地方は昔から山の仕事（林業）がさかんでした。

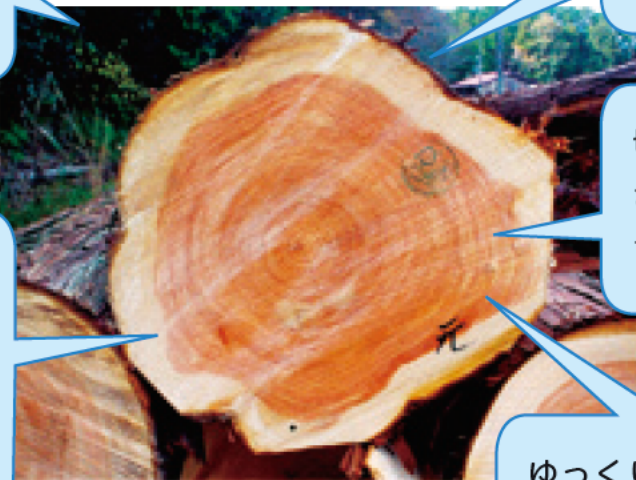
なえ木を育て、しつの良い木材にするため、「えだ打ち」の作業や、しかなどの動物の食害から木を守るためにネットをはる作業などを行い、じっくりと時間と手間をかけて育てられています。

家を建てる時の材料などに使われます。

ヒノキ特有のかがおりがします。

関東大震災のときに尾鷲ヒノキの柱を使った建物はこわれることが少なかったんだって。

切り口に見えるあざやかな赤みが特ちょうです。



おわせ
尾鷲ヒノキの森
(東紀州・尾鷲ひのきの会提供)

ゆっくりと長い年月をかけて育った「尾鷲ヒノキ」は年輪がきめこまかく、油分が多く光たくがあります。

「わたしたちの尾鷲市」(尾鷲市教育委員会)、ほかから作成

また、最近では、さまざまなせい品に尾鷲ヒノキが使われています。



尾鷲ヒノキで作ったべん当箱とおひつ、カップ
(「ぬし熊」提供)



尾鷲ヒノキで作ったコサージュ
(NPO法人 海虹路提供)

昔から「尾鷲わっぱ」と呼ばれる
べん当箱はあるけど、カップや皿、スプーン
もヒノキで作るのがおもしろいね。

ヒノキをコサージュにする
アイデアがおもしろいね。

また、尾鷲市には熊野古道の世界遺産登録を記念して、熊野古道センターが建てられました。熊野古道にふさわしい木の建物とするため、尾鷲ヒノキなど地元の材料を使用しています。熊野古道センターでは、尾鷲ヒノキを使ったもの作り教室などが行われており、体験することもできます。



熊野古道センター
(尾鷲市提供)

深めよう!! 尾鷲ヒノキ
~ひとくちメモ~

尾鷲市で、山の仕事をしている
おじさんに話を聞いてみました

「尾鷲では6ヶ所の製材工場があり、約37人の人が働いています。山の仕事(林業)をしている人は、全部で80人ほどですね。」

「昔からさかんだった林業だが、今はいろいろ問題があるね。尾鷲のすぎやヒノキは有名だけど、最近では外国の木を使うことが多くなったので、前のように売れなくなってきました。また、山で働く人も、だんだんへり、60才以上の人が多くなってきました。」

「でも、新しい工場をつくったり、林道をふやしたり、もっと林業のことを勉強したりして、働く人をふやす努力もしています。」

「わたしたちの尾鷲市」(尾鷲市教育委員会)、ほかから作成

考 えて み よ う

- 1 あなたのまわりにある木で作られたものをたくさんさがしてみよう。
- 2 尾鷲ヒノキは、どんなところで、どのように育てられていますか。
- 3 尾鷲ヒノキのよさは、どんなところだと思いますか。
- 4 どうして、尾鷲ヒノキを使った新しいせい品が作られるようになったのだと思いますか。
- 5 尾鷲ヒノキの他にも、自然が生み出したすばらしいものをさがし、調べてみましょう。
- 6 山の仕事をしているおじさんは、これから山の仕事をどのようにしていきたいと考えていると思いますか。